

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

創立70周年記念文化祭を成功させよう

校長 竹花 和人

※10月4日(火)の全校朝会講話より

台風の影響などもあり、9月は例年よりも雨が多かったように思いますが、10月は秋らしいさわやかな晴天の日が続く予報となっています。まさにスポーツの秋といった天候のようです。10月10日は体育の日ですが、この日が体育の日になった理由を知っていますか。1964年の10月10日に東京オリンピックの開会式が行われたことを記念して体育の日が生まれたのです。この日はめったに雨が降らない日としても知られています。まさにスポーツの秋にふさわしい日です。実は先生方は9月から11月の3か月間、青森県内の先生方や青森県教育委員会関係の方たちと歩く歩数を競う競技会を行っています。そのため、先生方は万歩計を身に付けているのですが気が付いていましたか。1チーム3人で競争しているのですが、島守中学校のあるチームは、3か月コースに参加している56チームのなかで12位という好成績を収めています。1、2年生は部活動があるのでスポーツをしていると思いますが、3年生のみなさんも、受験勉強の合間に様々なスポーツを頑張ってみませんか。

さて、7日からいよいよ文化祭週間です。今年の文化祭は、島守中学校創立70周年記念文化祭となります。生徒の皆さんと先生方が一緒に70周年記念文化祭をつくりあげていくこととなります。また、保護者の方々も食堂や喫茶・バザーの運営で文化祭を盛り上げてくださいます。4月からの島中生の成長した姿を見ていただく重要な機会となります。普段学んでいることをもとに、合唱や和楽器演奏、演劇などを発表するとともに、地域のえんぶり組の方々に指導していただく郷土芸能えんぶりを発表することで、仲間や先生方、さらには保護者や地域の方々との人間関係を深めていくとともに、自分たちが主体的に練習に取り組むことで様々な課題を自分たちで解決する力も身に付ける機会にしていきたいと思えます。

そこで、今回は吉田松陰の「国は人を以て盛んなり」という言葉を紹介します。これは、「国というのは人によって豊かになっていくものである」という意味で、皆さんのふるさと「島守」におきかえると「島守は生徒の皆さんが成長すること・活躍することによって発展していく」ということとなります。この文化祭への取組を通して皆さんが成長していくこと、様々な場面で活躍することこそが大好きな島守の発展につながるのです。ぜひふるさと島守の発展のためにも、文化祭に向けて精一杯の力で取り組んでいきましょう。

国は人を以て盛んなり

島守中学校の次のリーダーは誰？生徒会役員選挙行われる

10月5日（水）に、生徒会役員選挙が行われました。生徒数の減少により、今回の選挙から生徒会役員の定員が「2年生2名、1年生2名」と変更され、生徒会長は2年生2名の中で「生徒会長票」が多かった人になることになりました。

1・2年生ともに、定員2名に対して3名の立候補があり、立候補者と応援者は朝から玄関ホールで投票を呼び掛けるなどの選挙運動を行いました。また5日の選挙前に行われた立会演説会では、立候補者と応援者によるそれぞれの思いが込められた演説と、一般生徒からの質問に対する真剣な回答があり、どの候補者からもこれからの島守中を素晴らしい中学校にしていきたいとの思いが感じられました。

選挙の結果、次の生徒たちが生徒会役員の選ばれました。これからの島守中学校のリーダーとして、演説で述べた公約の実現を目指して頑張ってもらいたいと思います。

- 生徒会長 織田零央
- 生徒会役員 中下奨 砂倉大和 白石穂花



**学校は地域に支えられ
地域は学校によって活性化している**

ここ10日間ほどの間に、地域で行われる諸行事に参加する機会がありました。その中で印象に残っているのが、9月25日に行われた南郷体育祭と、9月30日に行われた「地域の底力」結集会議です。

南郷体育祭では、20代の若者が少ないためか、本来は出場資格がないはずの中学生が駆り出されて出場している姿を見かけました。中学生がいなければ、盛り上がり欠ける体育祭になるだろうと感じました。また、「地域の底力」結集会議では、小中学生に島守弁を伝えたいと考え、地域の方々が市役所を巻き込んで様々な取組をしようとしている姿が見られ、子供たちは地域に支えられているということ強く感じました。

地域の方々が学校に寄せる期待や願いを、私たち教職員がしっかりと受け止めて一緒に子育てやまちづくりに取り組んでいくことが大切だと実感しました。

全国学力・学習状況調査の結果

9月28日に、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校は、国語A（基本的な知識・技能を問う問題）・B（知識・技能を活用するための思考力判断力等を問う問題）、数学A・Bで全国平均を上回っています。

ただし領域別にみると、国語Aでは「書くこと」に関する内容が、数学Aでは「数と式」に関する内容が全国平均をやや下回っておりますので、今後詳細に分析をしたうえで、3年生の授業で補充的な指導をしたり、1・2年生の授業を工夫して行ったりするなど、対策を講じていきたいと思っております。なお、3年生一人一人の成績については、このあと生徒を通じて保護者の皆様にお知らせいたします。

